

議長記者会見（第19回）会見録

日時：平成27年6月26日（金）

午後3時06分～

場所：石川県議会議事堂

議長応接室



会見を行う中村議長（右）と西田副議長（左）

1 所感

議長就任から2か月、議長として初の定例会を終えて

4月30日の就任以来、私と西田副議長の2人、緊張感をもってしっかりと6月議会を努めさせていただきました。改めて歴史と伝統ある石川県議会の第97代の議長に就任させていただいて、本当に良かったという気持ちで一杯です。特に1期議員の皆さんの発言をお聞きしまして、私もデビュー当時の緊張感を思い出しました。議長席でも、ひしひしと1期議員の皆さんの緊張感を感じました。県民の夢や希望や期待、そういったものをしっかりと受け止めて、議会での発言を通して知事に伝えて実現させていく。この原点に戻るといふ大切さを、改めて感じさせていただきました。私は、1期議員の立ち居振る舞いなどを見て、学ばせていただくこともたくさんありましたし、その学びの中から改めて、県民の負託に答えるという原点、基本に立つことの大切さを確認させていただきました。議会改革とは何か、とよくマスコミの皆さんから聞かれますが、ま

ず自分自身が足下をしっかりと見直して、議員本来の活動を進めていく中で、議会の進むべき方向や変えなければならぬことが見えてくる。その見えてきたものを、私の後に続く議長さん等々に、しっかりと引き継いでいければいいなと思っています。私自身は、議会改革というのは自らを改革すること、つまり議員改革であると捉えさせていただいております。本当に、私自身、緊張感あふれる、いい経験を積ませていただいたと思っております。

2 今議会を振り返って

①北陸新幹線金沢開業後の効果・課題について

いろいろな質問がたくさん出ましたが、3月14日に新幹線が開業いたしました。その開業の効果や課題について、多くの論議があったと思っています。新幹線開業後初めてのゴールデンウィーク期間中の観光客の入り込みは、ご存じのとおり、昨年に比べて、兼六園が約2倍、金沢城公園が約3倍など、県内の主要温泉地や観光地においても、金沢はもとより、心配していました能登や加賀の観光地においても多くの人たちが訪れたということで、新幹線効果が全県に及んだということで、議会でも論じられましたし、私自身も感じています。新幹線は、移住・定住人口の拡大、いわゆるUターン、Iターン、流出人口を流入人口に変えていくという質疑もありましたし、首都圏も通勤圏である、ということから、企業誘致もいろいろ引き合いがあると聞いています。それも含めて、本県の幅広い発展につなげていくということが非常に大切だと思っております。何よりも波及させた経済効果等々を持続させることが必要という論議もありました。

大切なことは、金沢の一人勝ちではなくて、隣県の福井県や富山県も含めて、新幹線沿線自治体との連携がこれから大いに必要となってくるのではないかと。なぜかというところ、これは私見ですが、将来の道州制を見据えて北陸3県がしっかり連携していく、このためには、新幹線の効果を北陸3県にくまなく波及させていく。このことが、将来の道州制の関係で石川県が中心的な役割を果たしていくためにとても大事だと思います。9月下旬に東京で開催される旅行見本市に、北陸3県が共同で出展することになっていきます。10月初旬には、北陸の食や伝統芸能を集めたキャンペーンのオープニングイベントを金沢城公園で開催することも、答弁としてございました。

また、金沢市中心部では、歩いて回る外国の人たちなどの観光客の増加に対応するため、国や県、金沢市の関係部局で構成する連絡調整会議を設置して、しっかりと対応するとのことでありました。

西田副議長との話で、石川では「弁当忘れても傘忘れるな」という言葉があります。金沢駅から武蔵が辻、香林坊、片町まで、傘を差さずに買い物、散策できるアーケードなども、これから考えてもいいのではないかと思います。

県議会といたしましても、新幹線金沢開業後の効果をしっかりと生み出して、金沢では山間部は新幹線なんて関係ない、というようなことを言う人がいるのも事実ですが、そういう人たちにも実感いただける新幹線効果、もともと能登や加賀においてもそれぞれに実感いただける新幹線開業効果を生み出して波及させていく。いしかわは一つ、また北陸3県は一体、という考え方をしっかりと定着させていかなければいけないと思っています。

②長期構想について

平成18年度から27年度までの10年間の今の長期構想ですが、平成28年度は新たな長期構想のスタートになります。議会もしっかりと検討して、いしかわの将来を、新長期構想の中で主張する必要があると思っています。去る6月19日には、「長期構想策定検討会議」の初会合が開催されました。今後は、学識経験者や各界各層の意見を踏まえ、新長期構想がしっかりと策定されていくものと思っています。

③手取川の濁水について

5月初旬に確認されました手取川の濁水につきましては、七ヶ用水や宮竹用水などにも濁水の流入が確認されているというのは、皆さんご承知のとおりであります。特に、用水路に土砂堆積が確認され、それを除去するために、農業従事者の皆さんに負担が生じている、ということもありまして、早急に問題解決にあたらなければならない。当然、漁業につきましても、定置網漁等々に漁獲量の減少がある。アユの放流にも影響が出ているということもありまして、早急に対策を講じていかなければならない。

既に林野庁では、崩落斜面に凝固剤を散布するなどの処置をして頂いているところがありますが、これから梅雨を迎えますので、早期に固定・安定をさせていく。このことについて、国はもちろんのことではありますが、県としても重要な役割はあると思います。

ご存じのとおり、県議会でも「手取川水系における濁水の早期解消を求める意見書」を全会一致で可決しております。

この意見書に基づいて、国、特に県選出の国会議員さんにフルに活動していただいて本格的に梅雨入りする前に関係省庁に強く議会として要望し、何とか一つの解決を見いだしていきたいと思っています。

④地方創生について

地方創生につきましては、「いしかわ創生総合戦略」について、昨年末に知事を本部長とする「いしかわ創生推進本部」が既に設置されまして、6月10日には、有識者会議が開催されました。

今年3月14日の北陸新幹線金沢開業といういわばビッグチャンス、これを活かさない手はないだろうとっておきまして、ものづくり企業や高等教育機関の集積、充実した子育て環境などの石川県の強みも活かしながら、人口減対策をしっかりと考えていく、と知事からも説明がありました。

地方創生は、政府の最重要課題の一つであり、県議会といたしましても、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。

⑤選挙権年齢の引き下げについて

6月17日に、公職選挙法が改正され、いよいよ来年の参議院選挙からスタートすることになりました。2万3千人余の新有権者に対してどう政治への関心を高めるのか、投票率のアップにどうつなげていくか、周知・啓発をどう図るのか、という質問があったところであります。

これにつきましては、ポスターとか、例えば従来小学校や中学校で行っていた模擬投票を高校で実施するなど、市町の選挙管理委員会や教育委員会と検討を進めているとのことであります。

選挙管理委員会と県、そして我々議会が連携しながら、投票率アップに向けた環境づくりに真剣に取り組んでいかないと、何のための18歳選挙権付与かとなりますので、しっかりと連携しながら、啓発活動などに取り組んでまいりたいと思っております。

⑥意見書について

意見書についてであります。意見書等調整会議におきまして、調整等された結果、各党派から提案のあった7件の意見書のうち、先ほども申し上げましたが、「手取川水系における濁水の早期解消を求める意見書」など3件が可決されました。

可決された3件につきましては、送付するという形ではなくて、副議長と役割分担をしながら各省庁に持参し、県民の意思によって意見採択がされたということ、中央省庁の人にしっかりと伝えて、そしてその実現のために汗をかいていきたいと思っ

ています。当然、県選出の国会議員さんにも汗をかいていただきたいと思っております。

3 議会の広報・広聴について 「ふれあい親子県議会教室」について

昨年もやらせていただいて大変好評でした「ふれあい親子県議会教室」を、今回も実施したいと思います。8月18日の午後に行うことになっています。対象は、県内の小学校に通う4年生から6年生の児童とその保護者で、残念ながら人数制限をせざるを得ないのですが、昨年と同じ36組としています。既に募集をさせていただいております、6月25日までに177組の応募がありました。当日は議長、副議長はもちろんですが、広報広聴会議のメンバーである県議にもお出ましいいただくことにしています。開かれた議会、私どもが一生懸命いろんなことに取り組んでいることをご理解いただければと思っています。

実施内容につきましては、「県議会って何だろう」。そして3グループに分かれまして、議員との「ふれあいトーク」をやらせていただき、児童からの議員に対する質問を受けていきたい。あと「議場探検」ということで、議長室と副議長室で議長と副議長を探していただいて、私たちの部屋で子どもたちと触れ合う、また、親御さんとはもちろんのこと、子どもたちともしっかりと名刺交換をさせていただく。子どもさん相手でも、真摯に対応させていただく。あと議会図書館で、自分の誕生日の新聞記事を探そう、これは以外と受けるのではないかな。あと議場見学等々も計画しています。多くの人たちに議会を理解いただこう、そして議員を理解いただこう、こういう思いを持っております。

4 その他 全国植樹祭について

最後になりましたが、5月17日の日曜日に、天皇、皇后両陛下のご臨席を賜り、小松市の木場潟公園で「第六十六回全国植樹祭」が開催されました。3日間とも天気が良くて、県内外から一万人を超える参加者があったということで、成功裏に終えることができました。私自身も、議会の代表として3日間お供をさせて頂きましたが、大変光栄でありましたし、満足いたしております。天皇皇后両陛下の人間味あふれるお姿を間近で見させて頂いて、改めてこの行幸啓期間中に、県内各地の多くの県民の皆さんにお会い頂いて、慈愛に満ちた優しいお言葉をかけていただいたりしたことを、改めて思い出

させて頂きました。私自身も副議長もそうだと思いますが、県民の全てが、両陛下の深い心遣いを感じたのではないかと。改めて、議長としても副議長としても、素晴らしい3日間を経験させていただいたということで感謝一杯でありますし、県民に改めて感謝申し上げます、そんなふうに思っています。

5 質疑応答

私からのお話は以上であります。何かご質問があればお受けしたいと思いますが、いかがでしょう。

記者

18歳選挙権の話がありましたが、投票に行きたくなるような環境づくりが必要だと。議会として、具体的に何か計画されているということはあるのでしょうか。

中村議長

今度、不破議員と平蔵議員が中心となりまして、議会というよりは自民党会派でありますけれども、金沢大学の岡田先生という方、この方は18歳選挙権などの専門家であります。この岡田先生をお招きしまして、しっかりと私たちが何をしなければいけないのか、どんな考えで、この18歳選挙権に向けて行動していかなければならないのかを学びます。他の会派でもそのような動きが出てくるとは思います。議会としては正式に18歳選挙権についての具体的な計画は考えていません。

記者

意見書は持参されるということですが、時期はいつごろになりますでしょうか。

中村議長

できれば7月です。そのころは全国規模の会議がいくつもありますので、副議長と手分けしてお持ちしたいと思っています。民主党政権下で私が副議長をしていました時に、送付するという一つの慣習ができていましたが、あえて私自身、各省庁にお持ちしたことがありました。やはり持参した方が、訴える力は大きい。私はそう思いますから、ぜひ手分けして持参したいと思っています。持参するときには、皆さんにご連絡いたします。

記者

意見書には首相あてもありますが。

中村議長

首相のところには行けるかどうかわかりませんが、関係省庁には持参したいと思いません。

ほかはよろしいですか。では副議長さんからどうぞ。

西田副議長

議長も言われていることでもありますが、私も今回108代目の副議長として就任させていただいて、大変緊張感のある、また議長のご配慮もありまして、議長席に座らせていただきました。まだまだ若輩者の私ですが、責任の重さをひしひしと感じました。

また、若い1期の議員さんが、自分の課題を持って議会で訴えられた。私もそのことを振り返り、初心に帰って頑張っていきたい。また、県政に目配りできる議長のもとで、少しでも議長が仕事をしやすいように、私自身も目配りしながらサポートさせていただきたい、そのようなことを改めて思いました。

個人的なことになりますが、私自身、副議長職を拝命いたしますときに、今まで育ててくれました母が、直前に亡くなったものですから、できればこの姿を見て頂きたかったなと、改めて親に対する感謝の気持ちを持つことができました。正副議長という立場では、石川県は広いですから、議長が金沢中心になったりとか副議長が能登中心になったりとか今まではそういう配慮があったようですが、中村議長体制になったからには、全て議長に目配りをしていただき、私が全力で支えるという2人3脚をさせていただいている。議長は大変なのですが、議長が足を踏み入れていただく能登の隅々まで目配りしていただく。そのことについても、全力でサポートさせていただきます。新幹線の関係についても、議長がお答えになっておりますが、私も同じような思いを持っております。

中村議長

皆さん、議長室へどんどん顔を出して下さい。議長室も開放していますので。議長室へ来られますと、お互いに情報交換もできますので、遠慮なくどうぞ。

今日はありがとうございました。